

年	組	名前
---	---	----

# 大分の魅力 過去最高 22位

## 全国ランク

民間シンクタンク「ブランド総合研究所」(東京都)による全国47都道府県の魅力度ランキングで、大分県が過去最高の22位となった。前年の31位から9位順位を上げ、全国トップの躍進。研究所は「認知度や観光意欲の項目で順位を上げた。県による積極的な情報発信も影響しているのでは」と分析している。

## 地域ブランド調査

順位	都道府県
1	(1) 北海道
2	(2) 東京都
3	(3) 千葉県
4	(4) 東京都
5	(5) 神奈川県
...	...
22	(31) 大分県

順位	都道府県
1	(2) 函館市
2	(3) 札幌市
3	(1) 東京都
...	...
12	(14) 別府市
52	(69) 由布市

研究所によると、ランキングは「地域ブランド調査」25位▽10年 34位▽11年 33位▽12年 31位。認知度を通や魅力度、訪問経験、地域資源評価など74項目を独自に数値化し順位付けした。今回、目立って順位が上がった項目が「認知度」。前年の38位から33位になった。研究所は「そもそも知っていないと魅力は分からない。大分県を知っている人が増えたことが順位を押し上げた一因」とする。

民間シンクタンクによる全国47都道府県の魅力度ランキングで、大分県が過去最高の22位になりました。

## 認知度や観光意欲が上昇 「おんせん県」が奏功？

**地域ブランド調査**  
地域のブランド力を「見える化」しようと2006年から実施。都道府県のランキングは09年から。今年は20～60代を対象に7月1～22日に調査し、約3万人から回答があった。

調査では全国の千市区町村(全790市と東京23区、研究所が抽出した187町村)の魅力度もランキング。県内からは200位以内(▽別府市(12位)▽由布市(52位)▽大分市(194位))の3市がランクインし、ここでも温泉地が高評価となった。

研究所は「さらに上位を目指すには、温泉のほかにどんな体験ができ、どんなグルメがあるのか、いろいろな売り込みが必要」と指摘。県は「来年は、JRの駅ビルや県立美術館のオープン、東九州自動車の県内全線開通など話題が多い。勢いを生かし、さらなるブランド力の向上に取り組みたい」としている。

(2014年10月10日夕刊11面)

①大分県は前年の何位から、今年は何位になりましたか。

.....

.....

.....

.....

②躍進につながった取り組みは、何だと考えられていますか。

.....

.....

.....

.....

③さらに上位を目指すため、体験やグルメなど、売り込む大分の魅力を挙げてみよう。

.....

.....

.....

.....